

1) 概略	
科目名称	地域の課題Ⅱ
単位数	2単位
テーマ	様々な事象が地理的、歴史的、文化的、さらには経済的、科学技術的な文脈に深く埋め込まれ、かつ、今後はグローバルにもつながることが想定される地域企業の課題発見と解決提案
講義内容	地域の課題Ⅰの内容を踏まえ、地域企業の経営者に対するインタビューと関連項目の調査を通じて、その企業の課題を明らかにする。その上で、自分自身が取り組むという仮定のもとに、課題解決のためのプロジェクトを設計する。その過程で、自己と世界との関係性を認識し、自らの個性や能力を現実社会の事業や仕事の中で存在感のある形で発揮することを体験的に学ぶ。プロジェクトの設計に際しては、授業担当の、企業経営に対するコンサルティングや企業の経営革新に関するプロジェクト設計の実務経験を活用し、適切なフレームワークを用いて実践する。
達成目標	地域企業の経営者に対するインタビューと関連項目の調査を通じて、その企業の課題解決のために自らが取り組むプロジェクトを設計する。その過程で、既有的知識を組み合わせて事象を解釈し、新たな知を生み出すための仮説設定ができるようになるための能力として、①戦略的計画の策定能力、②価値判断能力、③信頼関係構築能力の三つの強化を図る。

2) 講義スケジュール(予定)			
	枠組	概要	事前事後の学修
第01回	ガイダンス	ガイダンス:この授業の目的と到達目標、内容、学び方、留意事項について詳しく説明し、インタビュー対象企業の概略を紹介する 評価指標の提示:この授業で重視する「知的活動のコア能力」について概説し、この授業の評価指標と評価規準を示す ※事前アセスメントを実施	【事前学修】シラバスを事前に読み、その内容を理解する 【事後学修】ガイダンスを踏まえてこの科目における自らの学びの姿勢について考察する
第02回	インタビュー調査の基礎(1)	グループワーク:事前調査の結果を踏まえて模擬インタビューを実施し、そこから得られた情報をまとめる。それに対して教員からのフィードバックを得る 講義:企業の現状把握のためのヒアリング項目と内容	【事前学修】事前配布資料を読み込み、インタビュー対象企業の外部環境について調べる 【事後学修】授業の内容を踏まえてインタビュー対象企業に対するヒアリング項目を抽出する
第03回	インタビュー調査の基礎(2)	グループワーク:模擬インタビューを実施し、そこから得られた情報を文章としてまとめる。それに対して教員からのフィードバックを得る	【事前学修】インタビュー対象企業に対するヒアリングシートを作成する 【事後学修】教員からのフィードバックをもとに自分自身の文章を修正する
第04回	ヒアリングシートの設計	グループワーク:インタビューする企業の現状を理解するために必要な情報を洗い出す。その上で経営者インタビューの際に用いるヒアリングシートを作成する	【事前学修】インタビューする企業に関する既存情報を整理しヒアリング項目を整理する 【事後学修】授業の内容を踏まえてヒアリングシートを完成させる
第05回 第06回	経営者インタビュー	実践:自らが作成したヒアリングシートを用いて、地域企業の経営者に課題抽出のためのインタビューを実施する	【事前学修】第4回の議論と講義の内容をもとに、ヒアリングシートを完成させる 【事後学修】インタビューをもとに当該企業の現状を紹介する文章を作成する
第07回	地域企業の現状	グループワーク:企業ごとに作成した内容を共有し、他の受講生や教員からのフィードバックをうける 講義:企業経営に対するコンサルティングの実務経験をもとに作成したフレームワークを用いて、地域企業の将来像と課題について学ぶ グループワーク:当該企業の将来像や課題を見いだすために必要なヒアリング項目を抽出する	【事前学修】インタビューをもとに「企業ケースシート」の当該企業の現状に関する項目を作成する 【事後学修】授業内のディスカッションを踏まえて「企業ケースシート」の当該企業の現状に関する項目を修正する
第08回	再インタビューの設計	グループワーク:前回のブラッシュアップを元に、企業の再ヒアリングの項目やインタビューの流れを設計し、教員からのフィードバックを受ける	【事前学修】経営者に対する再インタビューの項目を宿題シートにまとめる 【事後学修】授業内でのフィードバックを踏まえてヒアリング項目やインタビューの流れを修正する
第09回 第10回	経営者インタビュー	実践:自らが作成したヒアリングシートを用いて、地域企業の経営者に課題抽出のためのインタビューを実施する	【事前学修】第7回、第8回の議論と講義の内容をもとに、再インタビューのためのヒアリングシートを完成させる 【事後学修】インタビューをもとに当該企業の将来像と課題を紹介する文章を作成する
第11回	地域企業の課題抽出	グループワーク:事前に絞り込んだ当該企業の課題について、妥当性を議論する 講義:企業経営に対するコンサルティングの実務経験をもとに作成したフレームワークを用いて、企業課題解決プロジェクトの設計手順と留意点について解説する	【事前学修】インタビューの結果を、「企業ケースシート」にまとめる 【事後学修】授業の内容を踏まえて当該企業の課題を抽出する
第12回	地域企業の課題と解決のためのプロジェクト	グループワーク:当該企業の課題のうち学生自らが取り組むのが効果的なものとして抽出したものに対して、妥当性を議論する 講義:企業経営に対するコンサルティングの実務経験をもとに作成したフレームワークを用いて、企業課題解決プロジェクトの詳細の設計の手順と留意点について解説する	【事前学修】ケース企業の課題を抽出し、学生が取り組むことが解決に結びつきやすいものを選ぶ 【事後学修】授業の内容を踏まえて当該企業の課題解決プロジェクトの詳細を設計する
第13回	プロジェクト設計	ワーク:当該企業の課題に対して学生自らが取り組むプロジェクトを設計し、授業担当の、企業の経営革新に関するプロジェクト設計の実務経験を踏まえたフィードバックをもとにブラッシュアップする	【事前学修】当該企業の課題解決プロジェクトにおける成果目標を設定する 【事後学修】授業の内容を踏まえて当該企業の課題解決プロジェクトを修正する
第14回	プロジェクトブラッシュアップ	グループワーク:これまでの議論をもとに、ヒアリングした企業の現状、課題、それに対して学生自らが取り組むプロジェクトをとりまとめ、授業担当の、企業の経営革新に関するプロジェクト設計の実務経験を踏まえたフィードバックを元にブラッシュアップする	【事前学修】第13回の議論をもとに「プロジェクトシート」を修正する 【事後学修】授業の内容を踏まえて当該企業の課題解決プロジェクトを修正する
第15回	プロジェクト発表	全体共有:設計した課題解決プロジェクトの内容を共有し、相互に評価する ※事後アセスメントを実施	【事前学修】教員からのフィードバックをもとに、当該企業の課題解決プロジェクトを完成させる 【事後学修】授業の内容を踏まえて当該企業の「プロジェクトシート」を完成させる

3) 成績評価等	
成績評価方法	ミニッツペーパー 65% 毎回授業終了時にミニッツペーパーを提出する ・ミニッツペーパーの問いは、この授業を通して強化すべき①戦略的計画の策定能力、②価値判断能力、③信頼関係構築能力に加え、その基礎となるメタ学習能力、フレームワーク活用能力、多様性受容能力に関するものとし、毎回どの能力の向上に資する問いであるかを示す ・ミニッツペーパーの内容については、次回講義時に設問の意図や、今後の学習に対する助言も含めて解説し、形式的評価とする プロジェクト内容 35% ・対象企業の情報を十分に入手し、現状を適切に分析できているか(15/35) ・当該企業にとって戦略的に意味のあるプロジェクトとなっているか(10/35) ・自ら主体的に取り組むことを前提としたプロジェクトとなっているか(10/35)
学修に必要な準備	授業内では経営に関するフレームワークを提示しますが、それぞれの学部学科の学びの視点が活かされることが重要です。そのため、普通の学部の授業での学びを表面的に捉えるのではなく、他の事象に適用するという観点で捉える努力をしてください。
関連して受講することが望ましい科目	「地域の課題Ⅰ」「地域課題演習」
テキスト、参考文献	使用しません
履修上の注意	この授業は一方的な講義で終始するものではありません。他の受講生とのディスカッションや、授業時間外の調査も必要になりますので、その心づもりを持って受講してください。 オフィスアワー等についてはガイダンス時に指示します。 ※現実の企業課題に取り組みますので、情報管理に関する教員の注意事項を守ってください。 ※開講日は2019年8月27・28・29日、場所は東北学院大学土樋キャンパスを予定しています。